

平成30年度 地域自立支援協議会交流会 実施報告

資料 8

1 概要

目的：①地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況に関する情報交換を実施することにより、地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。

②都の自立支援協議会として、地域協議会の活動状況について状況を把握する。

日時：平成30年8月28日（火曜日）13時30分から17時まで

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

対象者：地域自立支援協議会委員・事務局関係者、区市町村職員
東京都自立支援協議会委員・事務局関係者

周知方法：各区市町村の地域自立支援協議会会長、所管課長宛てに通知を発出
各区市町村の自立支援協議会所管へメール及び電話連絡

参加者数：131名

- ・区市町村参加者 98名（15区20市2町）
- ・東京都自立支援協議会委員 16名
- ・都事務局関係者 17名

2 プログラム

テーマ 協議会であがった課題はどこにいてしまうのか
～自立支援協議会本来の役割～

ミニシンポジウム

今年度のテーマ選定理由

各区市町村の現状（東大和市、板橋区、武蔵野市）

<パネリスト>

東大和市：東京都自立支援協議会副会長 海老原 宏美 氏
（特定非営利活動法人自立生活センター・東大和理事長）

板橋区：東京都自立支援協議会委員 清家 政江 氏
（社会福祉法人JHC板橋会障害者就業・生活支援センター
ワーキング・トライセンター長）

武蔵野市：東京都自立支援協議会会長 岩本 操 氏
（武蔵野大学人間科学部人間科学科教授）

グループ討議の進め方

グループ討議

- （1）他地域の自立支援協議会関係者7～9人で意見交換（12グループ）
どうしたら、自分たちの自立支援協議会で、地域課題を抽出し、共有できるか
どうしたら、自分たちの自立支援協議会に地域課題をあげることができるか
- （2）区市町村ごとで振り返り
各グループで検討したことを共有
区市町村に戻って、まず、具体的に何をしますか

全体会

- （1）各区市町村からの発表
「私たちは〇〇区市町村に戻ったら、まず、_____をします。
なぜなら、_____（理由）_____だからです。」
- （2）東京都自立支援協議会会長によるまとめ

平成30年度 地域自立支援協議会交流会 実施報告

3 プログラム構成のねらい

(第1回本会議グループ討議及び実行委員による検討より)

1 協議会本来の役割

- 協議会本来の役割がつかめない。部会は活発だが、協議会の全体会は何をするのか。個別支援から地域課題を拾い出して、それを解決するためにどうしたらいいかという議論ができていだろうか。
- 部会はすごく活発で、成果物を作ったり手ごたえはある。部会は盛り上がっているが、全体会でそれをどうまとめれば良いかが難しい。
- 個別支援から地域課題に上がっていかない。個別課題が地域の課題として取り上げられ、解決のプロセスや方法を見つけるという仕組みに繋がっていかない。ずっと課題は課題のままというイメージがある。
- 個別の支援から見えた課題を地域課題に上げるには、それを課題と認識して、地域の課題だと共感する人を増やしていく。そうやって上がった地域課題をどう解決していくのかを協議する場に協議会がなっていないのではないか。「協議会」なのに、各部会からの「報告会」になっているように感じる。
- 地域課題が出たことによって、そこから制度改正に繋がれたとか、何か地域にインフォーマルなグループが立ち上がったとか、課題解決に向けた体制が地域の中にできているなら情報共有できると良い。

2 交流会終了後の取組の促進

- 交流会でせっかくディスカッションしても、区市町村に戻った後、取り組めていないのではないか。取り組める仕組みがそもそもないのではないか。どうやったら自分たちの協議会に今回のディスカッション結果を持ち帰れるかを考えられると良いのではないか。
- 他の区市町村の良い取組をどうやったら自分の区市町村で実行できるか、どうやって協議会の中に話を持ち込めるかについて、最後に区市町村で話し合ってもらえば、行動に繋がるのではないか。
- なかなか解決しない課題に、どうやったら取り組んでいけるか、解決に向けた具体的な取組、一人ひとりが行動する小さなステップを考えていけると良いのではないか。

4 参加者アンケート

回答数：94 (回収率：82.5%)
東京都自立支援協議会委員からの回答を含む。

ミニシンポジウム

非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
21 (22.3%)	68 (72.4%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)

グループ討議・全体会

非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
36 (38.3%)	57 (60.6%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

<自由意見>

- 「地域課題はどこに行ってしまうのか」という課題にとっても共感し、良かった。他区市町村の現状から学ぶことがたくさんあった。(複数あり)
- 自立支援協議会の機能について考えられる良いテーマだった。
- 自分たちの自治体の当事者性の不足を感じた
- 自立支援協議会は、行政職員と他委員とでは、見方、捉え方が違うと感じた。
- まず何をするか、行動が明確になって良かった
- 自分たちの地域の自立支援協議会の課題が良くわかり、地域に戻って取り組むべきボールが投げられたのはとても良かった。
- 時間配分が良かった
- グループ討議の時間がもう少しほしかった。(複数あり)
- グループ討議では、他グループの声が重なり、うまく聞き取れなかった。